

平成 29 年度 第 1 回花巻新渡戸記念館運営協議会の会議録

期日：平成 29 年 7 月 28 日(金)

場所：花巻新渡戸記念館事務室

日時 平成 29 年 7 月 28 日(金) 13 時 30 分～15 時 01 分
場所 花巻新渡戸記念館事務室
出席委員 木村清且、高橋トシ、平塚正隆、福盛田 弘 計 4 人
欠席委員 内館勝人、小川淑子、佐藤 脩 計 3 人
事務局 市川清志生涯学習部長
花巻新渡戸記念館 嶽間澤茂館長、菊池喜一副館長、中島明子主査

■会議の顛末

○会議成立及び傍聴希望者の報告（菊池副館長）

予定の時刻になりましたので始めさせていただきます。それでは最初に、本日の会議の成立についてご報告いたします。本日は、委員 7 名中 4 名の方に出席していただいておりますので、新渡戸記念館管理運営規則第 9 条第 2 項の規定により会議が成立していることを報告いたします。

なお、本会議の傍聴希望者がいないことも併せて報告いたします。

1 開会（菊池副館長）

それでは、ただいまから平成 29 年度第 1 回花巻新渡戸記念館運営協議会を開催いたします。

開会にあたりまして、当館の嶽間澤館長があいさつを申し述べます。

2 あいさつ（嶽間澤館長）

本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

今年度も引き続き、同じメンバーの館長、副館長、学芸員（主査）で務めさせていただきます。なお、本年度から生涯学習部長に就任した市川さんは、当館設立の際に学芸員として当館に勤めていただいた方です。

私から何点か報告させていただきます。

まず、平成 27 年度よりも 28 年度の入館者が増えたことが喜ばしいことと思っております。岩手国体の影響が期待した程ではなかった、ということが残念ではありますが。

当館のポスターとチラシを数十年ぶりに新しいものにしました。当館のことを知っていただくため、市内の宿泊施設や小中学校を訪問して、チラシ等を配布したところです。

来年から小学校の道徳が教科となり、教科書の出版社 8 社中、3 社の教科書で新渡戸稲造が取り上げられることになりました。特に世界平和に貢献した業績という点が紹介されていますので、学校関係に活用を呼び掛けていきたいと思っております。

企画展といたしまして、県内で新渡戸稲造を顕彰・紹介している施設や組織であるところの新渡戸基金や盛岡市先人記念館、生誕地等を紹介しております。

心配なのは、当館が築 26 年となり雨漏りとか映像の音飛びや劣化が出てきていること

で、対応策が必要と考えております。本日は、様々な意見をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

(菊池副館長)

続きまして、市川生涯学習部長より、あいさつを申し上げます。

(市川部長)

天気の悪いところ出席していただきまして、ありがとうございます。

先ほど館長から話がありましたが、私は若い頃に当館の開設担当をしておりました。設計は木村さんで、築20年以上とはいえ、他館に比べるとしっかりとした作りでございます。この前の大雨で雨漏りがあったようですけれども、それ以前にはそれ程ひどい雨漏りもないようです。

入館者に関しましては、昨年からクーポン券を使用して大手の旅行業者にも来やすくしておりますが、なかなか入館者の増加に結びつかないようです。当館は若干増えたということですが、宮沢賢治記念館は生誕120年だったにも関わらず、減っているという状況です。

国体の関係者が宿泊施設を押さえてしまったため、観光客が予約できなかった、という情報もございます。

今後もイベントや大会等を開催し、観光客の誘致を図ってまいりたいと思っております。皆様にはこの協議会をはじめ、様々なご協力をいただきまして大変感謝申し上げます。

ご意見等を頂戴できればと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(菊池副館長)

続きまして、木村運営協議会長からあいさつをいただきます。

(木村会長)

こちらの運営協議会の委員になってから初めて、今年の6月に(当館主催の移動研修に参加して)新渡戸家ゆかりの地に行ってみりました。非常に印象が良くて、来年も是非参加したいと思っております。

そういった活動をしながら、新渡戸のことをもっと深く知りたいと思っております。

今までの実績と今後の活動に役立つような会議になればと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(菊池副館長)

それでは、新渡戸記念館管理運営規則第8条第2項の規定により、会長が会議の議長となることから、木村会長に議事の進行をお願いいたします。

3. 議事(議長:木村会長)

(木村会長)

それでは、議事(1)の平成28年度事業及び利用状況等の報告について、続けて議事(2)の平成29年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

〈菊池副館長が資料に基づき説明〉

(木村会長)

ありがとうございます。それでは事務局から説明のありました内容について、何か質問がありましたらお願いいたします。

(木村会長)

平塚委員にお聞きしたいのですが、花巻観光協会としてはクーポン券を市の11施設で活用しているのですか。

(平塚委員)

花巻市が11施設を一括して旅行業者と契約したということで、「どんぐりとやまねこ号」を運行している手前ども（花巻観光協会）としては、契約以前はお客様が直接現金払いで入館するという形でした。昨年の下期から旅行代金を見直して、入館料含みの旅行代金に変更しております。

「どんぐりとやまねこ号」では、新渡戸記念館と宮沢賢治記念館、童話村の3つを一つのエリアとして考えて、営業していきたいと思っています。

昨年は午後コースに宮沢賢治記念館が入っていなかったのですが、お客様から立ち寄りたいたいという要望が多かったことから、今年は午前と午後の両コースに入れたところ、昨年よりも利用者が増えております。

入館者の目標人数については、これまで実際の入館者数と9千人近い乖離があるということでした。この施設は市の運営ということもあり、入館料イコール運営経費ではない訳ですので、いかに前年実績を下回らないかが重要なのかなと思います。

幸いにも、昨年も増えておりますので、平成29年度も14,700人という数字を維持していただければと思います。

(木村会長)

国際ソロプチミスト花巻会長の高橋委員はいかがでしょうか。

(高橋委員)

私どもの会員も減少傾向でして、なかなか私自身がこちらに目を向けることができず、申し訳なく思っております。

先ほどの話にもありましたが、9千人多く入れるにはどのようにしたらよいのか、私なりに考えておりました。

(木村会長)

国際ソロプチミストの方で、例えば台湾の方々と交流するというような予定はありますか。

(高橋委員)

それはないです。国内での交流はありますけど。

(木村会長)

海外からの入館者が何人か分かりますか。

(菊池副館長)

台湾の方が割と多く見受けられとは思いますが、どの国から来た方かを見分けるのは難しいです。どちらから来たか尋ねるのも失礼になると思いますので、海外からの入館者数は把握しておりません。

ただし、海外からの入館者にも対応できるように、館内での説明を英語、台湾語、中国語、韓国語の4カ国語で聞くことができるようになっております。

(福盛田委員)

台湾で活躍した遠野出身の伊能嘉矩（いのうかのり）という人物がいます。その人物も今年で生誕150年なので、台湾にPRしたらどうかと思うのですが。

(菊池副館長)

岩手県南広域振興局では、海外からの誘客活動に従事している担当者が台湾に行くということで、当館のチラシを持っていってもらったり、新規作成する観光パンフレットに当館を掲載してもらおう等、観光客の誘致に協力していただいております。

(高橋委員)

この前、花巻温泉に台湾からの団体客がバス2台で来ていたのですが、そういった観光客のコースには新渡戸記念館や宮沢賢治記念館は含まれていないのですか。

(平塚委員)

入っていません。

(福盛田委員)

台湾の方が来館した時の反応はいかがでしたか。

(菊池副館長)

新渡戸稲造が台湾で活動していた部分の展示について、熱心に見ていかれる方が多いです。

(嶽間澤館長)

海外からの観光客は少なく、大学教授や興味のある方がほとんどであり、観光ルートには入っていません。

海外からの誘客も大切ですが、もっと地元の学校に来ていただきたいと考えています。小中学校を卒業する前に、一度は当館と宮沢賢治記念館を見学するというふうになればいいな、と思っています。

10月7日(新渡戸フェスティバル)に、文部科学省で教科書調査官をしている森上優子さんに来ていただき、「教育者・新渡戸稲造の魅力」の演題で講演していただきます。

入館者数についてですが、昨年と比べて大幅に減ったのが5月3日の行事(特別公演)です。神楽や和太鼓演奏に出演していただいた地元保育園児の数も減り、それを見に来る家族や親類の方々も減っています。開催日がゴールデンウィーク中ということもあって、近隣でイベントがあると100人単位で減ったりすることもあります。

引き続き、当館のポスターやチラシを配布する等して、誘客に力を入れていきたいと思っています。

移動研修は大変好評で、定員以上の方に応募していただきました。

(福盛田委員)

私の所属する花巻芸術文化協会でも十和田市(青森県)と交流がありまして、以前はマイクロバス2台で行き来していたのですが、今は作品交流が主です。

矢沢中学校は1年生、2年生というふうに分けて来館しているのですか。

(嶽間澤館長)

1年生です。あとは、校外学習のコースに入れるかどうか等、担任の先生によります。

(平塚委員)

校外学習というのは、各学校がやることになっているのですか。

(嶽間澤館長)

やらなければならない、ということではないのですが、各学校で企画して行っています。

(平塚委員)

一つ課題として、遠くの学校では足の確保という問題があって、バス代も結構な額にな

るので、学校側とすればそれをどうするのかですよ。

夏休みや休日に保護者が子どもを連れてきた時、意欲をどこに反映させるかは教育委員会と話をしなければならぬような気がします。例えば、スタンプラリーのようにゲーム感覚で行えて、市の11施設も含めて市全体で考えないと厳しいのかな、という感じがします。

夏休みや冬休みの課題に反映してもらえようだといいですね。地元の勉強になるのですから。子どものためであれば、保護者も来るのではないのでしょうか。

(市川部長)

冬休みには、5施設見学すると記念品をプレゼントするスタンプラリーを行っています。いくらか昨年より参加者が増えました。

以前大人向けに行っていたのですが、現在は市内の全小学校にチラシを配っています。

(中島主査)

周知にはなっているという実感はあります。

(市川部長)

年間を通じてでもいいので、家族と一緒に各施設を回り、全部回ったら何かプレゼントするといいのかもしれないですね。

(平塚委員)

学校に行ったら褒められるというのが、重要なポイントかなと思います。

(市川部長)

学校で掲示してくれるだけでも、いいのかもしれないですね。

(中島主査)

宮沢賢治記念館に通い、最終的に児童生徒栄誉賞をもらった子がおります。

(嶽間澤館長)

それはいい考えですね。

(市川部長)

教育長と相談してみます。

(木村会長)

他にございますか。

(委員全員)

なし

(木村会長)

次に、議事(3)の平成30年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

〈菊池副館長が資料に基づき説明〉

(木村会長)

それでは、事務局から説明のありました内容について、意見等をお願いいたします。

(嶽間澤館長)

常設展示室に穴堰の紹介映像があります。日本土木学会の会員の方がいらして、非常に素晴らしい内容で、今こういった内容のものを見られるところがないので、ぜひ残してほしい、という話がありました。当館のメインの展示でもありますので、劣化が進んでいることに関しても対応策を検討していきたいと考えております。

(市川部長)

平成29年度は、古くなった冷暖房機械の更新を優先させていただきました。機械が止まってしまうと、お客様や展示物に影響が出ますので。

(木村会長)

他にございますか。

(委員全員)

なし

(木村会長)

それでは、議事(4)その他に移ります。事務局から何かありますか。

(菊池副館長)

ありません。

(木村会長)

皆さんからは何かございますか。

(委員全員)

なし

(木村会長)

以上で議事を終了します。

4 閉会 (菊池副館長)

長時間にわたってのご協議、ありがとうございました。以上をもちまして平成29年度第1回花巻新渡戸記念館運営協議会を終了いたします。